PART2　らむの識別

「らむ」の識別

【識別対象】
1 「　　」の助動詞「らむ」
2 「　　」の助動詞「り」の「　　形」＋推量の助動詞「む」
3 「～ら」となる活用語の未然形＋推量の助動詞「む」

★〈見分け方〉＝「　　」の「　　」

1 上が「　　」段＝現在推量「らむ」
（例）読む**らむ**

2 上が「　　」段＝完了「り」＋推量「む」
（例）読め**らむ**

3 上が「　」段＝活用語の未然形＋推量「む」

（例）　深き故あ**らむ**

※「はべらむ」や「けづらむ」などの例外にも注意！

はべらむ

けづらむ

たてまつらむ

問一　傍線部「らむ」の文法的説明として、最も適当なものを次の中からそれぞれ選べ。

① ふるさとの見ざらむ人に…

② 人をまつらむ。

③ 何をかたてまつらむ。

④ 「～思ひはべらむこと」とわびたまへば…

⑤ なほその境に至らで詠めらむは無念なりとて、…

ア　助動詞「らむ」

イ　助動詞「り」＋助動詞「む」

ウ　活用語の未然形の活用語尾＋助動詞「む」

問二　「流れのままに十余町もや行くらむ。」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　現在推量の助動詞「らむ」の終止形
イ　現在推量の助動詞「らむ」の連体形
ウ　完了の助動詞「り」の未然形＋推量の助動詞「む」の終止形
エ　完了の助動詞「り」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形

問三　「いかがなりぬらん。」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　心あてに折らばや折らん初霜の置きまどはせる白菊の花
イ　吹くからに秋の草木のしをるればむべ山風をあらしといふらん
ウ　あらざらんこの世のほかの思ひ出にいまひとたびの逢ふこともがな
エ　ながからん心も知らず黒髪の乱れてけさはものをこそ思へ

問四　「いかでかその由を知らざらむ」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形
イ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「む」の終止形
ウ　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「らむ」の連体形
エ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「らむ」の終止形
オ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋詠嘆の助動詞「む」の終止形

問五　傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

「ここにありし人はまだやながむらむ[a]。」

「人違へしてはをこならむ[b]」

ア　現在推量の助動詞　　イ　形容詞の一部＋推量の助動詞

ウ　完了の助動詞＋推量の助動詞　　エ　形容動詞の一部＋推量の助動詞

a＝　　b＝

問六　「いかなる事をせんずらん」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形

イ　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形

ウ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形

エ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形

オ　動詞「せんず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形

〈Memo〉

第14講　PART2　確認問題

① 「戒(いまし)められむずらむ」を単語に分けた場合、どのような分け方になるか。最適なものを次の中から選べ。

ア　戒め／られ／むず／ら／む
イ　戒めら／れ／む／ず／らむ
ウ　戒め／られ／むず／らむ
エ　戒め／られ／む／ず／らむ

② 「侍るらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　四段動詞＋助動詞
イ　四段動詞＋助動詞＋助動詞
ウ　ラ変動詞＋助動詞
エ　ラ変動詞＋助動詞＋助動詞

③「敷けらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　四段動詞＋助動詞
イ　四段動詞＋助動詞＋助動詞
ウ　下二段動詞＋助動詞
エ　下二段動詞＋助動詞＋助動詞

④「男どもあるらむを、…」の傍線部と、文法的説明が同じものはどれか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　さりとも、いましばしならん。
イ　いづくにいかにしておはすらむ。
ウ　人二十人ばかりあるを、乗らむとする舟の、…
エ　おのがさかしからむ時こそ、…

⑤文法的説明が助動詞「らむ」ではないものはどれか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　たづぬべき　人もなぎさの　住の江に　たれ松風の　たえず吹くらむ
イ　心あらむと見ゆるに、…
ウ　悲しくや留まりて思ふらむ、…
エ　姑や食ふらむ。かへらや。

第14講 PART2 解答

問一 ① ウ ② ア ③ ウ ④ ウ ⑤ イ
問二 イ
問三 イ
問四 ア
問五 a ア b エ
問六 イ

第14講　PART2　確認問題　解答

〈解説〉

① 「らむ」がウ段についているので「らむ」で一語の現在推量の助動詞。「むず」で一語か否かは、「ず」ならば上が未然形になるが、「む」に未然形は存在しないため「むず」で一語。よって、正解はウ。

② 「らむ」の上がウ段なので、「らむ」は現在推量の助動詞。「侍る」はラ変の連体形。よって、正解はウ。

③ 「らむ」の上がエ段なので、「らむ」は完了の助動詞「り」＋推量系の助動詞「む」。完了「り」の上にある「敷け」は接続を考えると、サ変か四段のどちらかで、「敷かない」と活用するので、四段活用である。よって、正解はイ。

④ 「らむ」の上がウ段なので、「らむ」は現在推量の助動詞。同様に探すと、ウ段になるのは「おはす」。「おはす」はサ変の終止形。よって、正解はイ。

⑤ 「らむ」の上がウ段でないものを探す。イの「らむ」は、ラ変動詞「あり」の一部に推量の助動詞「む」がついたものである。よって、正解はイ。

〈解答〉

① ウ　② ウ　③ イ　④ イ　⑤ イ